鴻巣市章

こうのす

議会だより

3月定例会

2024.5.15

第74号

発行　埼玉県鴻巣市議会

〒365-8601　埼玉県鴻巣市中央１番１号

TEL 048(541)9001　FAX 048(541)1327

ホームページ https://www.city.kounosu.saitama.jp

みんなだいすき　大型遊具にあつまれ～！(川里ひまわり保育園)

6月定例会 開催予定日

6月4日(火)11時	本会議(開会)
6月7日(金) 9時	本会議(議案・請願質疑、委員会付託)
6月11日(火) 9時	文教福祉・まちづくり常任委員会
6月12日(水) 9時	政策総務・市民環境常任委員会
6月14日(金) 9時	本会議(一般質問)
6月17日(月) 9時	
6月19日(水) 9時	
6月20日(木) 9時	
6月24日(月) 9時	本会議(閉会)

※上記日程は、都合により変更になる場合があります。

●第1回臨時会・3月定例会の主な内容●

審議議案……P2～5
・当初予算、条例制定、条例の一部改正、補正予算
代表質問……P6～7
一般質問……P8～11
意見書・提出議案とその結果……P12

令和６年能登半島地震に対し、議員一同で24万円の義援金を送りました

第１回臨時会
1/30
３月定例会
2/21 ～ 3/21

令和６年度鴻巣市一般会計・特別会計・公営企業会計予算決まる

新たな一歩を踏み出す年

令和６年第１回臨時会は、１月30日に開かれ、市長から提出された議案２件について慎重審議し、原案のとおり可決しました。

３月定例会は、２月21日から３月21日までの30日間の会期で開かれ、市長から提出された「令和６年度鴻巣市一般会計予算」など51件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・可決しました。また、委員会提出議案として１議案、議員提出議案として１議案が上程され、原案のとおり可決しました。

令和６年度一般会計予算の概要

令和６年度一般会計予算の総額は、405億6800万円となり、前年度との比較では、額として12億3800万円の増、率にして約３・１％の増となります。

歳入は、市税のうち、市民税では、企業収益の増加による法人市民税の増収を見込むものの、東日本大震災復興基本法に基づく個人市民税均等割の加算措置が終了することや、固定資産税では、３年に一度の評価替えなどの影響から減収を見込んでいます。

歳出は、障がい者福祉や児童福祉などの各福祉施策における手厚い支援や充実したサービスの提供、また、道の駅整備事業、三谷橋大間線（３期工事）整備事業や上尾道路接続市道整備事業などの事業進捗を図るため増額としています。

令和６年度 会計別当初予算額 （単位：千円）

一　般　会　計		40,568,000
特別会計	国民健康保険事業	12,776,000
	介護保険	9,752,000
	北新宿第二土地区画整理事業	560,000
	広田中央特定土地区画整理事業	187,000
	後期高齢者医療	2,099,000
	計	25,374,000
公営企業会計	水道事業会計	3,738,212
	公共下水道事業会計	4,322,346
	農業集落排水事業会計	223,854
	計	8,284,412
合　　計		74,226,412

主な事業に注目

（単位：千円）

1. 未来をひらく人材を育て、確かな学びと文化が根付くまちづくり

• 地域子育て支援事業【一部新規・拡充】	47,268
• こども家庭センター事業【新規】	23,087
• 吹上地域保育園等新設整備事業【新規】	14,895
• 未就園児預かり保育試行事業【新規】	21,818
• 小・中学校適正規模及び適正配置事業	3,554
• 公共施設予約システム事業【一部新規・拡充】	15,909

2. いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり

• 特定健康診査等事業【一部新規・拡充】	116,599
• がん検診事業【一部新規・拡充】	91,925
• 老人福祉費庶務事業【一部新規・拡充】	1,766
• 難聴者補聴器購入費助成事業	
（要援護高齢者等支援事業）	4,000
（難聴児（者）補聴器購入費助成事業）	500
• 生活困窮者自立支援事業【一部新規・拡充】	22,502

3. 安全・安心に暮らせるまちづくり

• 家具転倒防止器具等設置促進事業【新規】	1,017
• 交通安全啓発事業	6,524
• 地域防犯体制支援事業	5,438
• 犯罪被害者等支援事業【新規】	404
• 配水管新設及び布設替工事	766,774
• 吹上第二浄水場防雷設備設置工事	175,000

4. 都市機能と豊かな自然が調和した住みよい快適なまちづくり

• 道路改修事業	144,500
• 幹線道路等整備事業	244,000
• 橋りょう維持事業	69,530
• デマンド交通運行事業【一部新規・拡充】	116,400
• 駅施設等維持管理事業【一部新規・拡充】	29,121
• （仮称）北新宿近隣公園整備事業	17,471

5. にぎわいと活力と魅力を創出できるまちづくり

• 商工会補助事業【一部新規・拡充】	39,813
• 中小企業者支援事業	19,452
• 空き店舗対策事業【一部新規・拡充】	3,150
• 用排水路改修事業	25,000
• 道の駅整備事業	357,386
• こうのす花まつり開催事業【一部新規・拡充】	15,220

6. 市民協働による一人一人が主役のまちづくり

• 人権啓発事業	1,925
• 広報かがやき発行事業	34,995
• 市制施行70周年記念事業【新規】	3,890
• SDGs 推進事業【新規】	9,626
• 包括施設管理業務事業	511,372
• マイナンバーカード交付事業	29,602

マチイロ 掲載しています。
スマートフォンでこうのす「議会だより」をチェック！

本会議映像（ライブ・録画）をインターネット配信しています。
鴻巣市のホームページから鴻巣市議会→議会中継にてご覧ください。

主な審議内容

政策総務常任委員会

当初予算 市制施行70周年記念事業

問 予定している事業は。

答 NHK全国放送公開番組や、記念式典を含めたオリジナル記念事業として14事業を予定しています。このほか、冠事業を含め、76事業を予定しています。

当初予算 SDGs推進事業

問 SDGs推進業務委託の内容は。

答 こうのとりSDGsパートナー宣言制度とこうのとりSDGsフェスティバル開催となります。地域ポイント導入支援業務委託は、地域団体や事業者などが実施するSDGsに関連する活動を対象に、ポイントを付与するシステムを構築する委託となります。

問 こうのとりSDGsパートナー宣言制度登録のインセンティブは。

答 SDGsに対する取組を市ホームページなどで紹介しPRできること。パートナー向けの交流会に参加できること。県の登録制度につなげ、そのメリットも併せて活用できることが考えられます。

SDGs未来都市 KONOSU

当初予算 包括施設管理業務事業

問 事業内容は。

答 電気工作物、消防設備、空調設備、給水設備などの保守点検業務、130万円以下の小規模修繕業務、月2回の各施設(注1)の巡回点検やヒアリング調査、簡易に対応可能な補修作業等の実施となります。

吹上小学校点検中

問 令和6年度に新たに施設を追加した理由は。

答 各事業課と協議を行い、管理水準の統一化、施設の安全性の向上、事務の効率化が図れると判断した施設を追加しました。

問 修繕実績件数と、市内業者発注件数は。

答 令和6年1月末までの修繕実績件数は768件で、そのうち市内業者への発注件数は707件です。

補正予算 財政調整基金 公共施設等整備基金

問 今後の見通しは。

答 財政調整基金は、令和6年度の繰入額が18億4000万円であったこと、これまでと同様の繰入れが必要との観点から、最低でも31億円前後の基金残高が必要と考えています。今後、義務的経費等の増加が見込まれるため、国・県の補助金等の活用、歳出削減にも努めていきます。また、公共施設等整備基金は、今後の施設修繕などの活用のためにも、積み増しをしていきたいと考えています。

文教福祉常任委員会

当初予算 こども家庭センター事業

問 新規事業の「こども家庭センター事業」には、どのような職員が従事する予定か。

答 子育て世代包括支援センター及びこども家庭総合支援拠点の職員が引き続き従事する予定です。子育て世代包括支援センターには、正規職員の保健師5人（育児休業中1人を含む）、社会福祉士1人、精神保健福祉士1人と、会計年度任用職員の保健師2人と助産師1人を配置しています。こども家庭総合支援拠点には公認心理師・保育士・教員免許等の資格を所持した会計年度任用職員の子ども家庭支援員と虐待対応専門員を2人ずつ配置しています。こども家庭センターの開設にあたり、有資格者の確保に努めます。

当初予算 吹上地域保育園等新設整備事業

問 吹上地域保育園等新設整備事業について、現在の鎌塚保育所の定員が120人、吹上富士見保育所の定員が100人であるのに対し、新施設の定員数100人とのこと。定員超過しないか。また、つつみ学園との複合施設にすることで、国等からの交付金や補助金が予定されるのか。

答 開所予定の令和10年度の保育需要の見込みから算出しており、超過する場合も想定し、有効面積としては

(注1)包括施設管理業務では市役所・支所・保育所・小中学校・公民館等を含む142の施設を維持管理しています。

定員以上に確保する予定です。また、財源は、交付税の算定にあたり、有利な起債が活用できる予定となっています。

当初予算

小・中学校適正規模及び適正配置事業

問 小・中学校適正規模及び適正配置事業で、実施してきた会議において、大芦小学校の統廃合についてどのような意見があったか。

答 通学区域の変更を検討するべきではないかという意見が多く、吹上小学校の通学区域を変更して、大芦小学校の児童数を増加させることで、2校を残してほしいという要望もありました。また、大芦小学校は敷地面積が広いことから、吹上小学校ではなく大芦小学校を利用した方が良いのではないかという声もありました。なお、統合に賛成の意見も多く、それぞれの立場によって意見が異なっている状況です。

条例の一部改正

介護保険料改定

問 要介護、要支援にならないよう、介護予防事業における工夫は。

答 はつらつ健康スタジオを実施し、介護予防を推進しています。今後も積極的に実施し、介護保険料の上昇を抑制できるよう努力します。

問 一般財源から繰り入れて保険料値上げを抑制する方向性は。

答 介護保険の財源については、国・県・市・被保険者の法定負担割合が定められており、法定外に一般財源から繰り入れることは好ましくないという国の通知があることから、法定負担割合以上に繰り入れることはありません。

補正予算

子どもの貧困対策推進計画策定調査業務委託料

問 子どもの貧困対策推進計画策定調査業務委託料の減額について、こども大綱の策定が遅れたためとのことだが、調査は行わないのか。

答 令和5年度に予定していた子どもの貧困対策ニーズ調査は、6年度に小学5年生、中学2年生とその保護者や高校生を対象に子ども、若者の生活実態や子どもの貧困状況及び支援に関するニーズ調査を実施する予定です。

まちづくり常任委員会

当初予算

駅施設等維持管理事業、鴻巣駅自由通路点検業務委託料

問 エレベーター設置前に自由通路を点検するとのことだが、具体的な点検内容は。また、以前実施した点検との違いは。

答 今回の点検は、駅自由通路、東口、西口の階段、通路の壁、屋根等を含む全体的な点検を行います。過去に点検を実施した記録はありませんが、平成28年に自由通路と駅舎とのジョイント部分の一部修繕を行った記録があります。

当初予算

（仮称）北新宿近隣公園整備事業

問 ランニングコースの設置要望があるようだが、設置の考えは。

答 アンケートを実施したところ、北新宿地域の人から要望があったため、設置可能かどうか精査し、来年度の実施設計に活用していきたいと考えています。

当初予算

農業集落排水事業会計

問 特別会計から企業会計に移行したことにより、どのように見える化が図られたのか。

答 貸借対照表に一般会計にはない約21億円の固定資産があり、固定資産の取得に要した経費である減価償却費が約9千500万円と明らかになったため、今後更新すべき資産状況が明確化されました。

問 独立採算性が本来の企業会計だが、今後の農業集落排水事業経営のあり方は。

答 令和2年度に策定した最適整備構想においてコストを算定し更新を検討しています。管理施設を減らすことなどにより維持管理費用の低減が図れることから再編計画を立てています。これを実施した場合には、公共下水道への接続費用が必要となるため、一時的に建設費が増加しますが、今後の維持管理費が大幅に削減できるため、現在、関係機関と財産処分等を含め協議を進めています。

補正予算

汚水管、雨水管の老朽化対策

問 汚水管、雨水管の老朽化に対する対応及び耐用年数は。

答 下水道管渠の標準耐用年数は50年となります。老朽化している管渠については、現在行っているストックマネジメント計画の見直しにおいて、今後の改築、修繕計画を立てていくことを考えています。

補正予算

吹上第二浄水場防雷設備設置工事

問 防雷設備の詳細は。

答 落雷しないようにイオンの電流を発生させるシステムと、地上からの誘導雷についてもアースの棒を入れて遮断させるシステムです。

市民環境常任委員会

条例の制定

鴻巣市犯罪被害者等支援条例

問 見舞金支給対象の遺族の定義は。

答 優先順位などがありますが、事実上婚姻関係と同様にあった者、パートナーシップの関係にあった者など、時代の情勢にも配慮した支給対象とします。

問 他市では親族間での犯罪は対象とならない場合もあるが本市の見解は。

答 本市でも夫婦・親子等の犯罪は対象となりませんが、DV等で家族関係が破綻していると認められる場合は対象とすることを考えています。

当初予算

デマンド交通運行事業 運賃割引対象の拡大

問 市民の声により運賃割引の対象を拡大したとのことだが詳細は。

答 「2歳到達月の末日までの子の保護者」の割引等の対象拡大については「市長への意見・提言」に提案がありました。また同様の意見も複数寄せられ、他の自治体の状況も参考とし実施を決定しました。

公共交通の種類	運賃割引等
フラワー号	運賃200円が無料に
こうのす乗合タクシー	運賃500円が300円に
ひなちゃんタクシー	利用登録の対象に

当初予算

こうのす花まつり開催事業

問 今後の展望は。

答 花のまち鴻巣をPRするイベントとしてこれまで通算13回開催してきました。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、開催内容をコロナ禍以前とほぼ同様に戻し開催してきましたが、来場者数の伸び悩み等を受け、吹上会場のステージイベントと露店出店を馬室会場へ移設し一本化を含め調整しています。

当初予算

交通安全啓発事業

問 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の予算が不足した場合の対応は。

答 令和5年度は3000個分を補正計上し、販売個数は6年2月末時点で約1600個となっています。6年度は今年度と同等の3000個分を計上しており、現状では十分な個数と考えていますが、警察や県と連携して引き続き啓発活動を実施します。

当初予算

地域防犯体制支援事業

問 減額の理由は。

答 令和5年度は防犯カメラを6か所設置しましたが、6年度では2か所（写真参照）の設置としているため減額となっています。

問 設置箇所の根拠は。

答 犯罪抑止効果が高いことから、これまでに市内3駅周辺に31台設置しました。今後、エリアを拡大し設置していく中で候補箇所を挙げ、警察のアドバイス等も参考に、2か所を選定しました。

〈防犯カメラ設置予定箇所〉

鴻巣駅東口 ココス前交差点

鴻巣駅西口 アンダーパス交差点

当初予算

道の駅整備事業

問 施設設計の概要は。

答 現在、設計業務を進めていますが、施設設計の概要として、地域振興施設は平屋建てを予定しており、施設内には直売所・レストラン・フードコート・多目的室・情報発信コーナー・キッズスペース・赤ちゃんの駅などを整備する予定です。詳細については現在設計業務を進めている中で決定していきます。

当初予算

国民健康保険基盤安定事業負担金

問 増額の要因は。

答 令和6年度から新たに計上される産前産後免除分と、保険者支援分については、税率改正により被保険者の平均保険税額が上昇すると見込み、5年度より約167万円の増額となります。

市長の施政方針に対する 代表質問

3月定例会では、並木市長が令和6年度施政方針に基づく各種事業を説明し、それに対し各会派の代表が質問を行いました。

※質問時間は、10分＋会派人数×5分です。

新たな一歩を踏み出す年 部署間連携・政策間連携の取組 新未来こうのす（35分）

問 次の10年に向けた「新たな一歩を踏み出す年」とあるが並木色を押し出した鴻巣の革命児になり得るような具体的な施策はあるのか。

答 今後10年間の取組が、本市の未来を左右する重要な期間であると捉えており、70周年という節目の年をスタートとして、未来を担う人材を社会全体で育み、社会経済の持続可能性を高めるため、「こどもまんなか社会」の実現に向けた事業を打ち出すとともに、複合的な課題の解決に向けたSDGsの視点から、行政全ての施策や事業を展開するといった3つの市政運営の柱のもと、次の10年に向け、「新たな一歩を踏み出す年」として、未来に向けたまちづくりに取り組みます。

問 部署間連携・政策間連携に向けた取組は。

答 SDGsを推進する上では、ゴールやターゲット間の相互関連性を理解し、より多くの相乗効果をもたらし、効果の相反をなるべく少なくする取組が必要となります。令和6年1月に開催した推進本部会議においては、6年度のSDGs推進事業案について、各部の責任者が共有を図り、全庁的な体制で事業を推進することとし、部署や政策の垣根を越えた連携を図るため、推進本部の下部組織としてワーキングチームを設置し、横断的な推進体制で進める予定です。

また、庁内のみならず、民間企業や地域の団体等との連携も不可欠であることから、内閣府が運営する「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の活用や、包括連携協定を締結している企業等と連携をするとともに、新たに開始する「こうのとりSDGsパートナー制度」により、市内事業者や団体とのパートナーシップを構築します。

「第7次総合振興計画」の構築に向けて・「総合病院」誘致に向けて 明誠会（35分）

問 令和6年度の「第6次総合振興計画」（後期基本計画）の実施内容と「第7次総合振興計画」策定に向けた取組の方向性と段取りは。

答 6年度は、後期基本計画の中間年度であることから、目標値の達成に向けて、事業の成果やまちづくり市民アンケートの結果を分析した上で、政策調整ヒアリングを実施し、多角的な視点で検討を行い、財源の効率的・効果的な配分を行っていきます。

次に、「第7次総合振興計画」ですが、7年度から8年度の2か年にわたって策定する予定です。策定の流れとしては、各種広聴事業や意識調査による市民ニーズの把握、現計画の達成度や成果の確認、近隣市との比較、人口動態に関する分析など、基本構想及び基本計画を策定するための基礎調査を実施し、策定の方向性を決定します。これらを踏まえ、基本構想や施策体系の原案を作成し、鴻巣市総合振興計画審議会やパブリックコメントによる意見を取り入れ計画案としてまとめ、基本構想については、8年12月定例会において審議予定としています。

問 地域医療体制「総合病院」誘致に向けた活動状況と今後の方向性は。

答 令和5年度の取組状況は、県央地域医療構想調整会議に参加し、当該地域の病床整備の状況についての協議に参加するなど情報収集を行ってきましたが、今後の地域医療構想において、県央保健医療圏に相当数の病床が配分され公募が行われるかは不透明な状況と捉えています。6年度においては、調整会議に参加するなど、第8次埼玉県地域保健医療計画に基づく病床整備の内容等を注視しながら、引き続き病院誘致に関する情報収集を行っていきます。

全市的なSDGsの推進の取組は こどもまんなか社会の実現は 公明党（30分）

問 本市では第6次鴻巣市総合振興計画後期基本計画でSDGsの達成に向け事業を推進するとのことだが、具体的な取組は。

答 昨年5月に内閣府より「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、本市の全事業がSDGsの推進に寄与するとの認識のもと「鴻巣市こうのとりSDGs推進本部」を中心に取り組んでいきます。令和6年度は

「SDGs未来会議」「こうのとりSDGsパートナー宣言制度」「こうのとりSDGsフェスティバル」「SDGsポイント制度」の4つの取組を行い、「SDGs未来都市こうのす」の実現を目指します。

問 こどもまんなか社会の実現に向けて、本市では「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行い新たな事業を行うとのことだが、新たな事業は。

答 令和6年度に「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行う予定です。主な事業として「鴻巣市こども家庭センター『ここの巣』」を設置し子どもに対して相談支援を行います。「こども誰でも通園制度」は全国本格実施を見据えた試行事業を行います。その他「地域子育て支援事業」「母子家庭等対策総合支援事業」「こどもの居場所支援事業」「コミュニティ・スクール推進事業」「学力向上支援事業」等を行います。ライフステージごとに特色のある事業展開により、結婚・出産期から子育て期まで切れ目なく支援し、子どもを安心して産み育て、健やかに育つ環境づくりを進めていきます。

「新たな一歩を踏み出す年」の取組 重点事業のうち大型事業の推進は こうのす未来と維新（30分）

問 市政運営の3つの柱と市長公約との関係及びその進捗は。

答 市長就任以来「市民と歩む新しい鴻巣」を基本姿勢とし「未来への投資で活力をつくる」「地域・市・県・国を経験でつなぐ」「くらしの安心を全力でまもる」の3つの方針のもと、総合振興計画における6つの政策に公約事業を関連付け、持続的に発展する「こうのす」の実現に取り組んできました。令和6年度は、市政運営の柱である「SDGs の推進」「こども・子育て施策の充実」「市制施行70周年記念事業」の3つを、公約事業との整合を図り、一体的に推進します。

問 新たなごみ処理施設の今後は。

答 令和6年度は、新施設の整備に関する必要な事項について、第2期建設検討委員会において引き続き調査研究及び検討を行い、施設等整備基本計画の策定に関する答申に向けた協議を進め、生活環境影響調査等の事務手続を進めるとのことです。

14年度の施設の供用開始を目指し、構成市町と連携し、取り組みます。

問 吹上地域の保育所を含めた公共施設の統廃合について伺う。

答 令和6年度は、鎌塚・吹上富士見の両保育所及び児童発達支援センター つつみ学園を統合し「（仮称）吹上コスモス保育園」を中心とした複合施設の設計業務予算を計上しています。今後の急激な少子高齢化の進展や人口減少を踏まえ、市民提供サービスの質は、代替機能を含め、可能な限り維持や向上を図り、スリム化を実現する縮充の視点を持ち、検討を進めます。

ジェンダー平等の視点を生かすには 小中学校給食費完全無償化の取組は 日本共産党（20分）

問 賃金の平等はジェンダー平等社会を築く土台である。非正規雇用の公務員の多くを「会計年度任用職員」が占めている。市民のいのちと暮らしを支える職務に専念するために、正規・非正規職員の待遇を均等にする考えがあるか伺う。

答 ジェンダー平等の実現に向けて、一人一人の人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の創造に向けた取組を推進していきます。

問 第3子以降の児童・生徒が対象となる「学校給食費の無償」を令和5年度に引き続き行う予算案である。物価高騰のおり、全国の多くの自治体では完全無償化が進んでいる。完全無償化にする考えを伺う。

答 学校給食費の完全無償化には年間約4億2千万円の多額の財政負担が生じます。将来に向けた事業の優先度、計画の見直しなど、市政運営に影響があることから、現時点では完全無償化は考えていません。

想定外を想定する 災害対応力の構築とは かいえんたい（20分）

問 市長公約である「想定外を想定する災害対応力の構築」とは具体的にどういうことなのか。

答 地域防災計画は、地震や風水害などの自然災害や大規模事故対策を想定し、その想定した災害に対して備えるものでありますが、私の考えている「想定外を想定する災害対応力の構築」とは、まずは、被害想定や過去の経験を超える想定外の災害が起こりうることを理解すること、また、他の地域で起こった災害等が本市で起こった場合を想定して対応を考えることが重要であるという趣旨です。その上で、想定外を起こさないためにすべきことは何か、それでも想定外のことが起きた場合にどうすべきか、ということを危機管理部門の職員を中心に意識付けを行っており、そのためには、平時から正確な情報の収集・整理を心掛けるとともに、最善の対処策を即時かつ柔軟に実行できる行動力や判断力を身に付けることが重要であると考えています。

この一般質問のページは質問者自らが執筆した原稿を掲載したものです。
２次元コードを読み取ると、各議員の一般質問の録画中継映像が視聴できます。

金属スクラップヤード MCIスクリーニング

公明党
橋本　稔

問　再生資源物の屋外保管施設「金属スクラップヤード」の周辺では騒音・振動等問題が多い。設置の規制はあるのか、規制する条例はできないか伺う。

答　有価物として扱う再生資源物は一部を除き法律による規制はありません。条例については埼玉県で環境省に要望書を提出していますので、埼玉県の動向を注視し調査研究していきます。

問　MCI（軽度認知障害）スクリーニングは血液検査で判定が可能、認知症の発症の予防のためにも健康診断、人間ドックの検査項目にできないか。

答　健康診断は法律に基づき行っているため国・県の動向を注視していきます。簡易1日人間ドックの検査項目は医師会と協議の上、決定しているため、その可能性を調査研究していきます。

○その他の質問

・災害時のラップ式トイレ

ヤングケアラーの支援 交通安全対策は

公明党
茂利　博之

問　本市におけるヤングケアラーの支援体制の状況は。

答　子育て支援課に専門職を配置しており、子どもの関係機関との多機関連携により子どもとその家庭を見守っています。

問　ヤングケアラーの支援条例の作成は。

答　近隣の動向を注視し、本市のヤングケアラー支援条例の整備について検討します。

問　自転車乗車用ヘルメット着用の推進は。

答　自治会や学校、警察等と連携し、着用の重要性について周知を図りたいと考えています。

問　AIを活用した「交通安全対策事業」の効果は。

答　AIが解析した危険箇所の活用により新たに未然防止型の安全対策の実施が可能になります。

○その他の質問

・ヤングケアラー高校生の支援

・電動キックボードの対応は

災害時における 物資や水の確保は

新未来こうのす
中西耕二郎

問　物資や水の確保は。

答　食料や毛布、トイレ、発電機などは、避難所等に設置の防災倉庫のほか、市役所敷地内の防災備蓄センターでまとめて備蓄しています。食料や生活物資等は、約2万4000人を想定し、1・5日相当分の備蓄を進めています。水は、給水車、耐震性貯水槽の整備、防災井戸や水を浄化する浄化装置の使用のほか、特に飲料水については、令和3年度よりペットボトルによる備蓄を進め、有事に備えています。

○その他の質問

・能登半島地震における応援職員派遣から、本市の防災対策に課題は見つかったのか

・観光振興による稼ぐ力の向上や人口減少対策についてなど

大間近隣公園 駐車場の拡大

明誠会
古山　大輔

問　利用者から駐車場が少ないと要望があるが拡大の考えは。

答　常設の駐車場と臨時駐車場を確保しています。公園周辺で、新たな駐車場が確保できるか検討していきます。

問　熱中症対策として、日よけ等のあずまやを増やす考えはあるのか。その際は近隣大学に協力を求めてはどうか。

答　現在、あずまや、パーゴラを各2か所設置していますが、パーゴラについては、日差しが強い夏季を中心によしずを天井に設け日陰になるよう配慮しています。日陰の休憩施設を増やすことは難しいですが、新たな休憩施設の設置を検討する際には近隣大学への協力依頼等について、関係部署と協議します。

○その他の質問

・ヤングケアラーの実態と課題

子育てしやすい環境づくりの取組

新未来こうのす
藤村　孝志

問　幼児教育・保育サービスの充実に向けた取組は。

答　第2期鴻巣市子ども・子育て支援事業計画に基づき幼児教育保育サービスの充実に重点を置いています。保育ステーション事業では、自宅から遠距離にある保育施設等への送迎に係る保護者の負担軽減のため、エルミこうのす内の保育ステーションで一時的に子どもを預かり、専用車両にて在籍する保育施設等まで送迎しています。また、子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという国の「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同して「こどもまんなか応援サポーター」の宣言を検討するなど、子ども・子育て世帯にやさしいまちづくりを進めていきます。

○その他の質問

・人権尊重の推進について

将来のインフラ整備はハウス農家への支援は

明誠会
市ノ川徳宏

問 将来のインフラの更新、維持管理事業は。

答 全国的に少子高齢化が進み、人口減少や厳しい財政状況から、インフラの維持管理にかかるコスト削減や事業の効率化等が急務となっています。市民生活に欠くことができない道路や橋梁、上下水道施設等は、限りある財源を有効かつ効率的に活用するため、必要性や安全性等を見極めながら、事業の選択と集中、優先順位を考慮したうえで、持続可能な社会インフラを目指します。

問 物価高騰に対するハウス農家への支援策は。

答 今年度は、農業者を対象とした物価高騰に関する市単独の支援事業は実施していませんが、相談を受けた農業者に対しては、国や埼玉県の助成制度について紹介を行っています。

女性の健康づくりとは女性視点の防災

新未来こうのす
高橋　亜紀

問 「女性の健康づくり」のアプローチ方法に「フェムテック」の利活用は。

答 女性の健康づくりのアプローチ方法については、今後の施策の推進にあたっては、健康課題を生じさせている要因を明確化し、焦点を絞った問題解決へのアプローチに取り組みます。「フェムテック」についても、女性特有の健康課題を解決するものとして注目されているところであり、その商品やサービスについて情報収集します。

問 避難所運営に女性の視点を取り入れる意向は。

答 女性の視点からの「避難所チェックリスト」の周知と活用をし、避難所運営マニュアルに加えることは、大変有効であるため早期に修正を検討します。

○その他の質問

・こどもまんなか社会の実現について

いわゆる隠れ待機児童本市の現状は

新未来こうのす
後藤　耕佑

問 「特定の園のみ希望」「育休中」など、待機児童にカウントされない人数は。

答 育児休業中の人が0人、特定の保育所等のみ希望している人が32人、求職活動を休止している人が16人となっています。

問 「仕事はしたいが育児で求職活動ができない」「通勤の都合で特定の保育所を希望するほかない」こんなケースは事実上の待機児童になると思うが見解は。

答 特定の保育所等のみ希望者には、入所できなかった時点での保育所等空き状況を通知し、入所希望変更等について随時対応しています。求職活動を理由とした保育所申請者には、調査時点での求職活動の状況を個別に聞き取りするなど、国が示す調査要領に基づき実施しています。

○その他の質問

・パブコメの活用状況について
・コミュニティナースについて

デジタル性暴力防止女性の健康施策

公明党
川崎　葉子

問 子どもを守るためのアプリ「コドマモ」の周知・啓発は。

答 子どもたちの自撮り画像被害を防止するなど児童生徒をデジタル性暴力から守るための一助となると捉え、保護者への周知・啓発を検討していきます。

問 更年期症状の予防、早期発見として、更年期症状を数値化して客観的に捉える「簡略更年期指数（SMI）」の導入・活用は。

答 更年期症状を数値化し客観的に捉えることで医療機関受診の目安になるなどの効果が見込めることから、新たな計画に沿った女性の健康づくりの取組を推進するにあたり、指数の活用方法等について検討していきます。

○その他の質問

・鴻巣市こども計画の策定状況
・市独自の5歳児健診の効果
・児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施
・食育について

第三次鴻巣市観光戦略計画（案）

かいえんたい
秋谷　修

問 埼玉県「観光づくり基本計画」では「観光消費額」「1人当たり観光消費額」を目標値として設定している。なぜ本計画に観光消費額の設定をしないのか。

答 本市においては、イベント型の観光を中心としていることから、川越市や秩父市のように、日常的に市外からの観光客が見込まれていない状況です。従って費用を掛けてまで基礎となるデータを収集していないことから、これまで経済的な数値を定めていませんでした。しかしながら、現在の動きとしては、イベント時にアンケート調査等を実施し、来場者の性別、年齢、来場回数、どこからきているかなどの情報を集め、現状把握に努めているところです。今後、基礎データの把握に努め、経済効果等の数値についても研究していきたいと考えています。

この一般質問のページは質問者自らが執筆した原稿を掲載したものです。
２次元コードを読み取ると、各議員の一般質問の録画中継映像が視聴できます。

上尾道路建設と周辺整備及び本市への影響は

無所属の会
矢島　洋文

問　住民への説明や要望等への対応と、今後の本市の対応は。

答　大宮国道事務所では、平成23年度の事業化後、地権者や沿道自治会を対象に、25年度に事業概要や測量・地質調査に係る説明を、27年度には道路設計に係る説明を行い、令和2年度には箕田・田間宮地区を対象に、3年度には馬室地区を対象に道路設計に係る説明を行いました。これまでの説明会の中では、市民から、道路設計、工事内容、用地補償等、約60件の質問や要望があり、これらを踏まえながら事業を進めているとのことでした。今後、接続市道の道路拡幅や道路新設については、上尾道路の整備に合わせて、順次、設計資料が整い次第、路線ごとに説明会等を実施していきます。

○その他の質問

・国道17号箕田付近の渋滞解消

こどもまんなか社会・応援サポーターの取組

こうのす未来と維新
織田　京子

問　こども家庭庁が力を入れている子ども達が、健やかで幸せに成長できる社会を実現するための「こどもまんなか社会・応援サポーター」の本市での取組は。

答　「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組む個人・団体・企業・自治体等のことです。本市では「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、令和6年度にこどもまんなか応援サポーターの宣言を行う予定です。

問　今後、こどもをまんなかに据えた子育て施策の取組は。

答　令和6年度には「こども誰でも通園制度」の試行的事業の実施や子育て支援センターの土曜日開設、アウトリーチ型子育て支援、ひとり親家庭の中・高生の夏季・冬季休暇期間の学習支援、大学受験の受験料、高・中3年生の模擬試験費用を支援することを予定しています。

本市の起債事業について

こうのす未来と維新
羽鳥　健

問　令和6年度は市制施行70周年で、7年度は1市2町の編入合併から20周年となる。平成17年の合併から本市は、合併特例法に基づき合併特例債を活用し、3地域の均衡ある発展と一体性の確立に向けたまちづくりを行ってきた。この事業の総括は。

答　新市の建設を総合的かつ効果的に推進するための基本方針として「新市建設計画」を定め、まちづくりのための建設事業に対する財政措置としての「合併特例債」と「合併振興基金」を合わせて354億1960万円の限度額上限までの借り入れをして、施策別戦略的・重点的プロジェクト事業を中心に推進することが出来ました。この合併特例債の償還も、令和5年度末時点で58・15％が償還済で、令和6年度の償還額が約18億8399万円となり、令和21年度にすべての償還を完了します。

令和6年度固定資産税の評価替えの概要

明誠会
田中　克美

問　令和6年度固定資産税の評価替えの概要について伺う。

答　固定資産の評価替えとは3年に一度の基準年度に土地・家屋の評価を見直すことをいいます。令和6年度は評価替えの基準年度にあたりますので、評価額の見直しを行いました。

問　納税義務者に分かりやすく丁寧な説明が必要と考えるが、いかにして丁寧な説明をするのか。

答　毎年5月に送付している納税通知書に土地・家屋の評価の仕組みや、評価額の算出方法を説明した「お知らせ文書」を同封しており、評価替えの説明も併せて記載しています。また、市ホームページでも、説明を掲載していますが、税務課の窓口にて、所有資産における評価額の算出方法などを、具体的かつ丁寧に説明し、少しでも納税義務者に理解してもらえるよう努めます。

小中学校の不登校対策 COCOLOプラン

こうのす未来と維新
坂本　国広

問　文部科学省の誰ひとり取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）に沿った本市の不登校対策は。

答　市内小中学校の内、小学校1校、中学校2校に校内教育支援センターを設置すると共に、教職員及び教育委員会事務局による「不登校対策チーム」を立ち上げる予定です。

問　不登校児童生徒の保護者への支援について伺う。

答　現在、教育支援センターにおいては、適応指導教室に通級している児童生徒の保護者を対象にした定期的な保護者会を開催し、保護者の抱える悩みを共有し、適切な情報提供や個別相談の紹介等を行っています。

不登校児童生徒の支援対策は

明誠会
芝﨑　和好

問 支援策として、学習者用端末を用いて行う、自宅などからのオンライン授業があるが、出席扱いについては学校長判断により統一されていない。出席とするためのガイドラインを市が作成できないか。

答 学習者用端末を用いたオンライン授業を、出席扱いにするためのガイドラインの作成は、６年度に教職員及び教育委員会事務局で作る「不登校対策チーム」を立ち上げ、協議していきます。

問 「不登校対策チーム」の立ち上げスケジュールと、ガイドラインの検討と作成は。

答 令和６年６月中を目途に１回目の会議を開催予定です。その中でオンライン授業のガイドラインの作成について協議し、教育委員会として判断します。

○その他の質問

・小中学校適正規模・適正配置
・市道について

児童生徒先生も元気に学べる学校に

日本共産党
諏訪三津枝

問 教育委員会が説明してきた「小規模校は、他の学校との教育環境の格差が広がる」とする根拠となるものは、市内の各学校にいつ、どのような調査を行って、どう課題の分析をしたものか伺う。

答 改まっての科学的根拠を求める調査や分析等を実施しているわけではありません。常に各校と情報を共有し、実情について調査した上で課題等に対応しています。

問 児童生徒に一番身近な存在である教職員が抱える業務実態を、どう改善しようとしているか伺う。

答 学校行事などにより在校時間が多くなる傾向も見られるため、意識改革を図るとともに業務改善の必要性を認識しています。在校時間などから現状を分析し、効果的であった取組を共有し、フォローアップを行います。

エレベーターの実施設計予算計上することは

日本共産党
竹田　悦子

問 新年度予算の駅整備事業予算には、鴻巣駅東口エレベーター実現に向けた実施設計予算は計上されず、自由通路点検業務委託費のみである。これまでの議会答弁とかけ離れた予算に、市民からは怒りの声すら上がっている。何故にエレベーター実施設計予算を計上しなかったか。

答 令和６年度に実施設計を予定していましたが、自由通路自体の安全性の確保を優先すべきとの判断から実施設計は見送りました。エレベーターの必要性は認識していますので、点検結果を踏まえ実施設計を計画します。

問 自由通路の点検と合わせ、エレベーターの実施設計予算を計上したらよいではないか。６月議会で補正予算を組むことは。

答 点検結果を踏まえて計画することから、現時点では想定していません。

市内中学校で起こったいじめ重大事態対応は

社民党
西尾　綾子

問 令和元年に市内中学校で起こったいじめ重大事態について、被害者側は調査報告書の公開を望んでいるのに、教育委員会がその意向を確認せずに一方的に非公開としたのは、文部科学省のガイドラインに違反しているが見解は。

答 今後の中学校生活に支障を来す恐れがあるから公表しませんということを伝えました。

問 10回開かれた調査委員会の議事録が不作成など、手続に複数の問題がある。調査委員会の委員を刷新し、文部科学省のガイドラインに従って正式な手順で調査報告書を作成し直す必要があるが見解は。

答 調査委員会の委員を刷新して再度調査を行う予定はありません。議事録不作成については申し訳なく思います。市の基準に従い今後きちんと作成するよう指導しています。

広田地区区画整理地内の町名変更は

かいえんたい
大塚　佳之

問 全国的に人口減少の中、区画整理事業地内を含む広田地区の人口は、わずかではあるが増加している。また、広田小学校は児童数増加を受けて、臨時の普通教室が整備された。そこで、本事業の経緯や町名変更について伺う。

答 広田中央特定土地区画整理事業は、平成９年度から進めている事業で、建物等の物件移転や道路築造工事などを順次行いました。様々な事由により、５回の事業計画変更を経て、現在に至っています。

町名変更については、地権者等を対象として、令和５年８月と12月の２回、アンケート調査を実施するなどして、本事業の審議会にて「広田中央一丁目・広田中央二丁目」の案を選定しました。手続等が整い次第、関係者等へ周知していきます。

意見書

議員提出議案第１号「ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書」（原案可決）

「ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書」（抜粋）

パレスチナ自治区ガザのイスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘が激化し、イスラエルの大規模攻撃により、ガザ地区の人道状況は「子どもたちの墓場と化し、人々の生き地獄となっている」（ユニセフ）とも言われる深刻な状況に直面している。日本政府は、昨年12月12日の国連総会で、即時の人道的停戦を求める決議に賛成している。同決議は、ガザ地区での即時の人道的停戦や、民間人の保護に関する国際法上の義務の順守、人質の即時かつ無条件の解放などを求めている。よって、政府においてはガザ地区の危機的現実を直視し、国連総会決議実現のため、引き続き外交努力を行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和６年３月21日　　鴻巣市議会

提出議案とその結果

（令和６年第１回臨時会、３月定例会）

議会では上程された議案を、所管する４つの常任委員会（政策総務・文教福祉・まちづくり・市民環境）に付託し、審議を重ねます。その上で、各議案に対する賛成の立場を起立によって表明します。

●次の議案は全会一致で同意・可決されました。

	議案番号	議案名
令和６年第１回臨時会	第１号	鴻巣市手数料徴収条例の一部を改正する条例
	第２号	令和５年度鴻巣市一般会計補正予算（第10号）
令和６年３月定例会	第４号	鴻巣市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	第５号	鴻巣市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	第６号	鴻巣市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	第７号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第８号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第９号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第10号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第11号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第12号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第13号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第14号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第15号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第16号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第17号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第18号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第19号	鴻巣市農業委員会委員の任命について
	第20号	財産の取得について
	第21号	鴻巣市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
	第22号	鴻巣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
	第23号	鴻巣市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

	議案番号	議案名
令和６年３月定例会	第24号	鴻巣市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	第30号	鴻巣市市営住宅管理条例の一部を改正する条例
	第31号	鴻巣市手数料徴収条例の一部を改正する条例
	第32号	市道の路線の廃止について
	第33号	市道の路線の認定について
	第34号	鴻巣市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例
	第35号	鴻巣市上水道給水条例の一部を改正する条例
	第36号	鴻巣市犯罪被害者等支援条例
	第38号	令和５年度鴻巣都市計画事業北新宿第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第２号）
	第39号	令和５年度鴻巣市水道事業会計補正予算（第４号）
	第40号	令和５年度鴻巣市下水道事業会計補正予算（第２号）
	第44号	令和６年度鴻巣都市計画事業北新宿第二土地区画整理事業特別会計予算
	第45号	令和６年度鴻巣都市計画事業広田中央特定土地区画整理事業特別会計予算
	第47号	令和６年度鴻巣市水道事業会計予算
	第48号	令和６年度鴻巣市公共下水道事業会計予算
	第49号	令和６年度鴻巣市農業集落排水事業会計予算
	第50号	鴻巣市税条例の一部を改正する条例
	第51号	鴻巣市立つつみ学園設置及び管理条例及び鴻巣市こどもデイサービスセンター条例の一部を改正する条例
	第52号	令和５年度鴻巣市一般会計補正予算（第12号）
	第53号	令和６年度鴻巣市一般会計補正予算（第１号）
	発議第1号	市長の専決処分事項の指定についての一部改正について

●賛否が分かれた議案は次のとおりです。

議案番号	議案名	議決結果	会派名（各会派最左が代表者）																										
			明誠会					新未来こうのす					公明党			こうのす未来と維新				かいえんたい		日本共産党		社民党	無所属の会				
			金子 雄一	田中 克美	市ノ川徳宏	芝苗 和好	古山 大輔	後藤 耕佑	小泉 晋史	藤村 孝志	中西耕一郎	高橋 亜紀	橋本 稔	潮田 幸子	川﨑 葉子	茂利 博之	坂本 国広	羽鳥 健	織田 京子	金澤孝太郎	秋谷 修	大塚 佳之	竹田 悦子	諏訪三津枝	西尾 綾子	矢島 洋文
第3号	鴻巣市教育委員会教育長の任命について	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	×	●	●	●	●	×	×	×	●
第25号	鴻巣市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
第26号	鴻巣市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
第27号	鴻巣市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
第28号	鴻巣市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
第29号	鴻巣市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
第37号	令和５年度鴻巣市一般会計補正予算（第11号）	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
第41号	令和６年度鴻巣市一般会計予算	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
第42号	令和６年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
第43号	令和６年度鴻巣市介護保険特別会計予算	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
第46号	令和６年度鴻巣市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●
議提第1号	ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書	原案可決	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	×		×	×	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●

●は議案に対して賛成、×は反対、キは棄権、欠は欠席　※議長は採決に加わらず　※並び順は議決順です

大募集!!

「こうのす議会だより」の表紙を募集します！

あなたのお気に入りの１枚を表紙に掲載します！
詳しくは市ホームページをご覧ください。

テーマ「花のまち　こうのす」　８月15日発行号（６月定例会号）
締切：５月31日まで